

# 南木曾町リニア中央新幹線 対策協議会

---

令和2年8月3日(月)

東海旅客鉄道株式会社

1

## 本日の説明内容

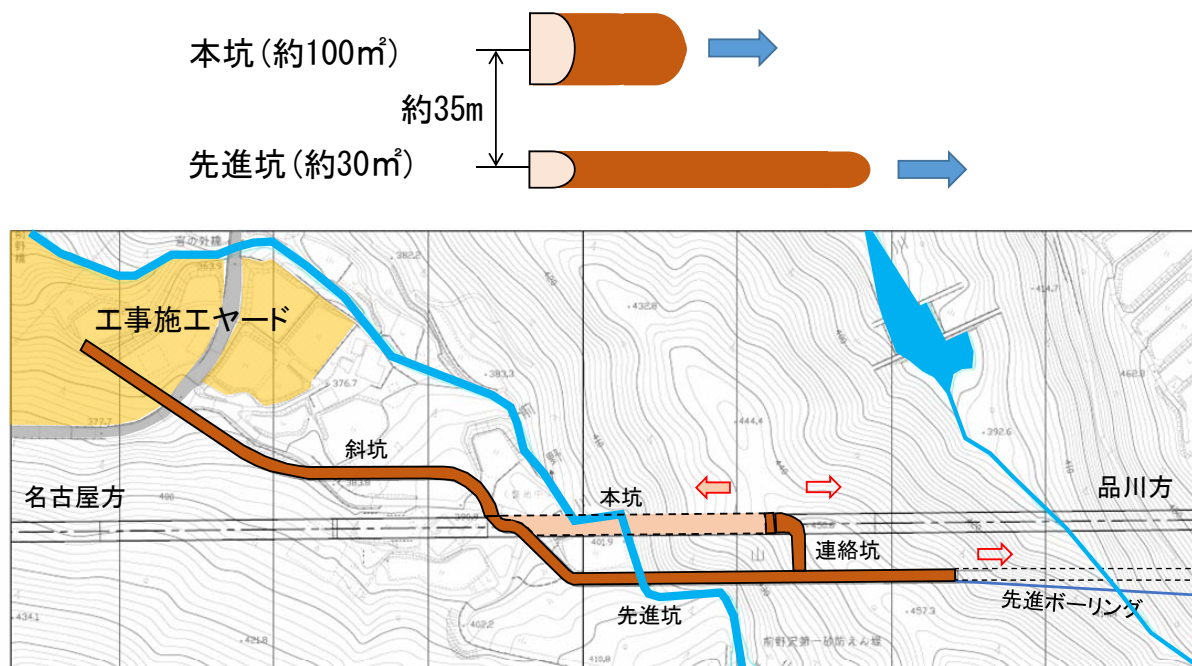
---

2020.8.3  
JR東海

1. 山口工区の工事進捗状況について
2. 広瀬工区の状況及び今後のスケジュールについて
3. 広瀬工区環境保全計画について
4. 工事用車両の通行等に伴う確認書について
5. 長者畑の発生土置き場としての利用について

2

## 進捗状況と施工予定について



※現時点での予定であり、変更となる可能性があります。

3

# 2. 広瀬工区の状況及び今後のスケジュールについて

## 工事説明会実施状況

7月2日(木) : 広瀬地区

7月3日(金) : 蘭地区

7月30日(木) : 妻籠地区

- ・工事概要
- ・工事用車両の運行計画及び安全対策
- ・環境保全

についてご説明し、ご理解を深めていただけたと考えています。

4

### 主な質問と回答

蘭川左岸下流側ヤードは仮置き場ではないのか。

- ・当該ヤードは、工事施工ヤードとして資機材置き場や駐車場等に使用する計画であり、仮置き場ではありません。
- ・仮置き場として使用することになった場合は、改めて地元の皆様に説明するとともに、必要な環境影響検討の実施、環境保全計画の作成を行い、公表します。

5

### 主な質問と回答

発生土に対してウランに関する調査を行うか。

- ・南木曽対策協議会等の中でご説明している通り、発生土の放射線量の測定を行います。
- ・測定方法、測定結果の取扱い等の詳細については、改めてご説明します。

6

### 主な質問と回答

工事用車両台数が、アセスの台数を超えているがなぜか。

- ・評価書の予測時点のトンネル掘削期間に比べ、短い期間で掘削を完了する条件で算出しているためです。
- ・複数の発生土置き場候補地を用意することで、車両が集中しないように引き続き検討をしていきます。

台数増加により環境への影響はないか。

- ・評価書では、広瀬工区と尾越工区が重なる地点において予測しています。今回の台数は両工区の合計台数以下であり、予測値以内です。運行ルート分散及び両工区間での調整を行い、影響が少なくなるよう検討していきますが、詳細は尾越工区の施工計画が具体化した段階でご説明します。

7

### 主な質問と回答

町道棚橋線と町道蘭広瀬線交差点付近の斜面对策を以前より要望しているが、実施してもらえるのか。

- ・ご要望いただいている斜面对策については、実施する考えです。
- ・詳細な対策内容は、今後道路管理者をはじめとする関係者と協議のうえ決定します。

8

### 主な質問と回答

棚橋線改良工事期間中のバス運行はどうか。

- ・工事期間中の交通規制に伴いバスの通行ができなくなる区間・期間については、代替輸送を実施する方針で、関係者と協議のうえ決定します。
- ・詳細が決まりましたら、地元地域の皆様へご説明します。

### 主な質問と回答

工事用車両の運行について、町の観光産業に多大な影響があることが想定される。観光客の満足度の低下など目に見えない形での影響も懸念され、入念な対策の必要がある。

については、土曜・日曜日、祝祭日及び観光のハイシーズンを除いた運行計画の作成を要請する。

- ・基本的にハイシーズンでない土曜日、祝日は工事用車両を運行させることを計画しています。
- ・なお、ゴールデンウィークや紅葉シーズンといった観光客の多い時期は、休日に工事用車両を走らせないことも含め、観光客、観光業者に対してできる限り影響を低減するよう努めてまいります。
- ・詳細な運行計画は、関係者の皆様のご意見を聞きながら検討していきます。

### 主な質問と回答

妻籠水道水源保全地区に対するトンネル工事の影響は大丈夫か。

- ・妻籠水道水源保全地区内でのトンネル工事について、長野県水環境保全条例第12条に基づき事前協議を行いました。これに伴う長野県環境審議会及び同専門委員会での議論の中で、観測井と水道水源の水が同じ水かどうかを確認する調査の結果をもって、同じ水ではないとの推定結果を報告をしています。
- ・事前協議結果である知事同意において、水道水源の水量確保に関する条件が付されたことから、南木曾町と協議し、水道水源に対する予備的措置を実施することとしました。
- ・予備的措置の基本的な考え方については、南木曾町と協定を締結しています。

11

### 主な質問と回答

#### 新道区からの質問

騒音、振動、粉じん、交通対策など、工事前に約束したことと異なる場合には、追加の対策を行うことを明記した協定書を結ぶべきではないか。

- ・騒音、振動、粉じんについては、今後、モニタリング等により環境への影響を把握し、必要に応じて、追加の環境保全措置の実施や環境保全措置の変更を検討します。また、その旨を環境保全計画に記載します。
- ・交通対策については、南木曾町と工事用車両の通行等に関する確認書を取交します。

12

### 主な質問と回答

#### 新道区からの質問

発生土置き場の候補地について、できるだけ早く住民に知らせるべきではないか。

- ・まずは、発生土置き場候補地の地権者・関係者の方と協議させていただき、お知らせできる状況になりましたら、速やかに関係する地区の住民の方へお知らせします。

### 主な質問と回答

#### 新道区からの質問

発生土の放射線量について、測定方法を明らかにし、測定結果を定期的かつ速やかに町に報告すべきではないか。

- ・南木曽対策協議会等の中でご説明している通り、発生土の放射線量の測定を行います。
- ・測定方法、測定結果の取扱い等の詳細については、改めてご説明します。

### 主な質問と回答

#### 新道区からの質問

南木曾町は急傾斜地が多く発生土置き場に適していないが、これまで以上の大雨でも崩壊しない安全な発生土置き場をつくれるのか。

- ・盛土や防災工事(水路等)の設計は、最新の関係技術基準等に基づいて行います。技術的な基準に則り設計・施工することで安全を確保します。
- ・排水設備については、技術基準に基づいて、水路(排水工)、地下排水管(暗渠工)、調整池等を設置します。

### 主な質問と回答

#### 新道区からの質問

発生土置き場の維持管理については、土砂崩落などの責任を地権者が取られることが心配されるが、JR東海が完了後も維持管理を行うことがあるということの良いか。

- ・埋め立てた盛土構造物の完成後の使い道がない場合、あるいは、防災等の観点から配慮を要する特段の事情がある場合は、完成後も当社で管理を行うことも考慮して個別(発生土置き場毎)に関係者と協議を行っていきます。



### 今後のスケジュール

- ・環境保全計画公表：8月3日
- ・棚橋線改良工事着手：8月中旬
- ・ヤード整備、仮橋工事着手：10月
- ・斜坑掘削開始：2021年夏頃

## 3. 広瀬工区環境保全計画について

中央新幹線中央アルプストーンネル新設  
(萩の平・広瀬工区)工事における  
環境保全について  
～中央アルプストーンネル(広瀬)～

- 第1章 本書の概要
- 第2章 工事の概要
- 第3章 環境保全措置の計画
- 第4章 事後調査及びモニタリング
- 参考 道路改良計画ほか

## <本書の概要>

本編P1

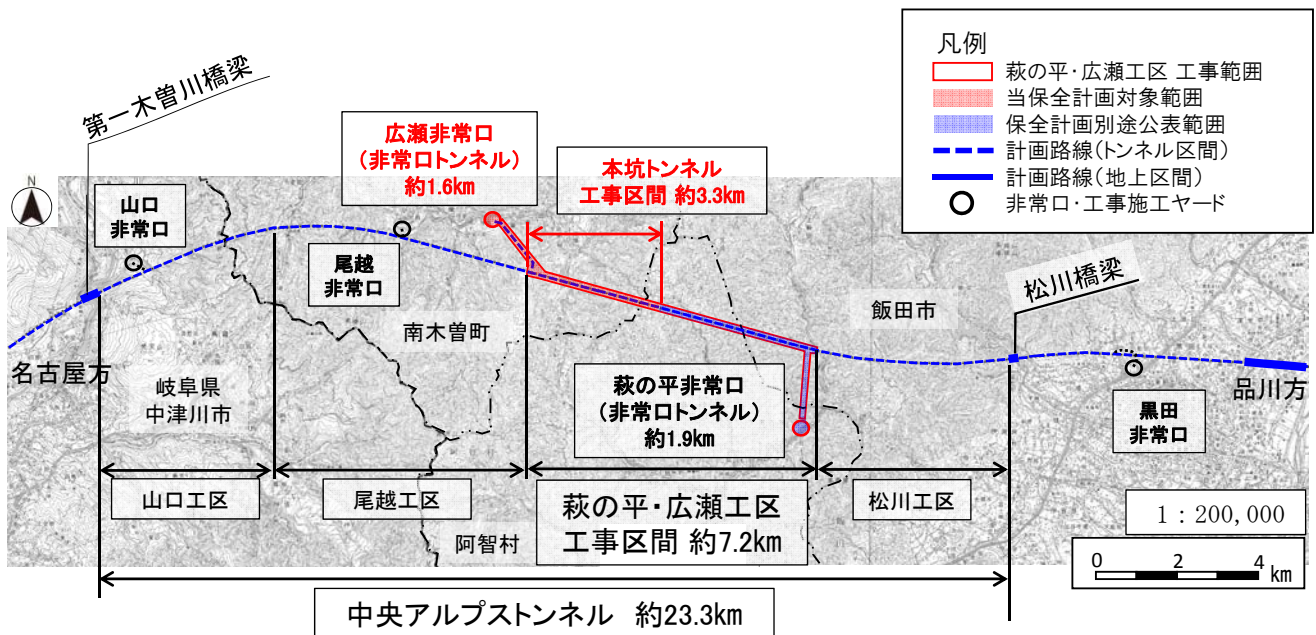
中央新幹線中央アルプストンネル新設(萩の平・広瀬工区)の工事を実施するにあたり、「中央新幹線(東京都・名古屋市間)環境影響評価書【長野県】平成26年8月」(以下、「評価書」という。)に基づいて実施する環境保全措置、事後調査及びモニタリングの具体的な計画、並びに工事中の周辺環境への影響回避又は低減するための管理計画について取りまとめたものです。

※スライド右上端部に「中央新幹線中央アルプストンネル新設(萩の平・広瀬工区)工事における環境保全について」(以下、「本編」とする。)のページ番号を記載しています。

# 第2章 工事の概要

## <路線概要及び工事位置>

本編P2



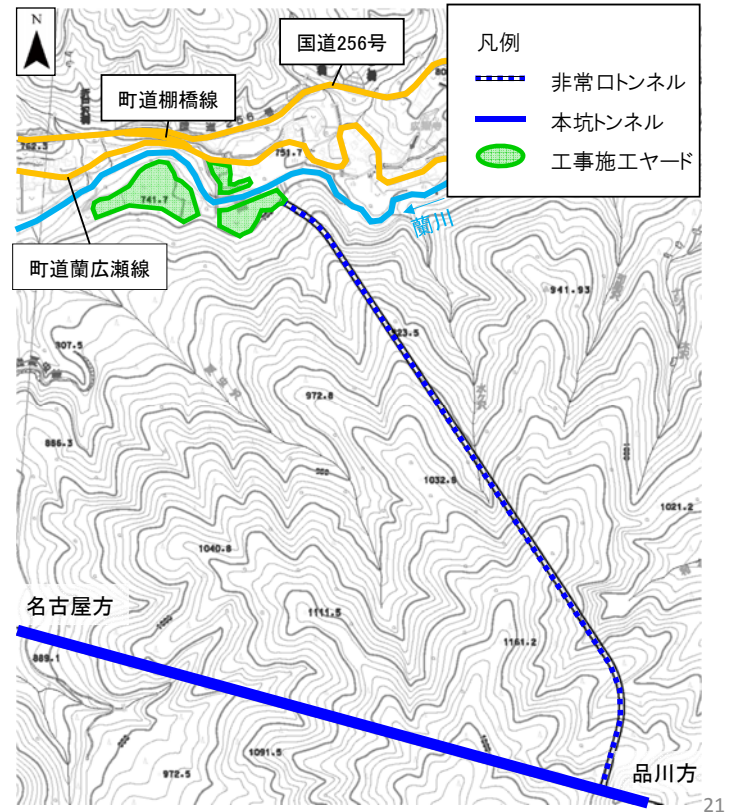
※各工区の施工延長は進捗により変動する可能性があります。

### <工事施工ヤードの計画>

本編P2、3

本工事における工事施工ヤードは、広瀬非常口周辺に3箇所設ける計画です。

工事施工ヤードは、バックホウ等を使用して造成し、ヤード内はアスファルト舗装を基本とします。



21

## 第3章 環境保全措置の計画

### <環境保全措置の検討方法>

本編P8

施設や工事施工ヤードの詳細な計画にあたり、重要な動植物の種が生息・生育する箇所をできる限り回避するとともに、重要な地形及び地質等その他の環境要因への影響も考慮し地形の改変範囲をできる限り小さくするよう計画



そのうえで、工事による影響を低減させるための環境保全措置を現場の状況に即し、

- ・ 建設機械、仮設設備等のハード面
- ・ 係員配置、教育・指導、設備のメンテナンス等のソフト面

から検討



必要な場合には、環境を代償するための措置について検討

#### <重要な種の生息・生育地の回避の検討>

- 工事施工ヤードの検討にあたっては、使用する設備の必要面積や設備配置を考慮したほか、工事施工ヤード周辺には重要な種が存在することから、重要な種の生息・生育地の回避検討を行い、重要な種への影響について回避を図りました。
- 本環境保全計画対象範囲において、影響を回避できなかった重要な種はいません。

※希少種保護の観点から位置等の情報については非公開にしています。

#### 【主な環境保全措置(水環境)】

環境要素	環境保全措置	環境保全措置の効果	実施箇所等
水資源	応急措置の体制整備 代替水源の確保	地下水等の監視の状況から地下水位低下等の傾向が見られた場合に、速やかに給水設備等を確保する体制を整えることで、水資源の継続的な利用への影響を低減できる。また、水量の不足などやむを得ず重要な水源の機能を確保できなくなった場合は、代償措置として、水源の周辺地域において、速やかにその他の水源を確保することで、水資源の利用への影響を代償できる。	水資源の利用がある箇所において、事後調査やモニタリング調査の結果から、地下水低下等の傾向が見られた場合は、すみやかに給水設備等を確保する体制を整える計画とした。なお、南木曾町内の水道水源に対しては、南木曾町との協定書に基づき、予備的措置として代替水源の確保を実施する※。

※ 長野県水環境保全条例第6条及び長野県指令29水大第378号(平成30年3月27日)の水道水源保全地区内における行為に対する知事同意の条件に基づき、南木曾町内の水道水源に対し必要な対策を行うこととし、その内容について南木曾町と令和元年12月11日に「南木曾町における中央新幹線建設工事に伴う水道水源予備的措置に関する協定書」を締結した。

## 第4章 事後調査及びモニタリング

2020.8.3  
JR東海

### <事後調査の実施内容>

本編P42

環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度
水資源	水量（湧水の水量、地表水の流量）、水温、pH、電気伝導率、透視度	南木曾町における水資源に係る具体的な調査の計画について（平成28年10月）に記載 ※水資源に係る具体的な調査地点を参考2に記載する。	
動物	照明の漏れ出し範囲における昆虫類等の生息状況	工事施工ヤード	工事中

25

## 第4章 事後調査及びモニタリング

2020.8.3  
JR東海

### <モニタリングの実施内容>

本編P43

環境要素の区分	調査項目	調査地点	調査時期及び頻度
大気質	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等	図4-1	工事最盛期に1回（四季調査）
騒音、振動		図4-1	工事最盛期に1回
水質	浮遊物質（SS）、水温、水素イオン濃度（pH）	図4-1	工事前に1回 工事中に年1回、低水期に実施
	自然由来の重金属等	図4-1	工事前に1回 工事中に1回以上、低水期に実施
水資源	水量（湧水の水量、地表水の流量）、水温、pH、電気伝導率、透視度、自然由来の重金属	南木曾町における水資源に係る具体的な調査の計画について（平成28年10月）に記載 阿智村における水資源に係る具体的な調査の計画について（令和元年11月）に記載 ※水資源に係る具体的な調査地点を参考2に記載する。	
土壤汚染	自然由来の重金属等、酸性化可能性	「3-4-3土壤環境（重要な地形及び地質、地盤沈下、土壤汚染）」に記載	
動物植物	河川の周辺に生息・生育する重要種	工事中の水位観測により減水の兆候の見られた箇所	各種の生活史及び生息・生育特性に応じ、専門家等の助言も得て実施する。

※その他、モニタリングとは別に工事施工ヤードでの騒音・振動について日々簡易計測を行い、その結果も踏まえて影響の低減を図る。

26



## <モニタリングの調査地点図>

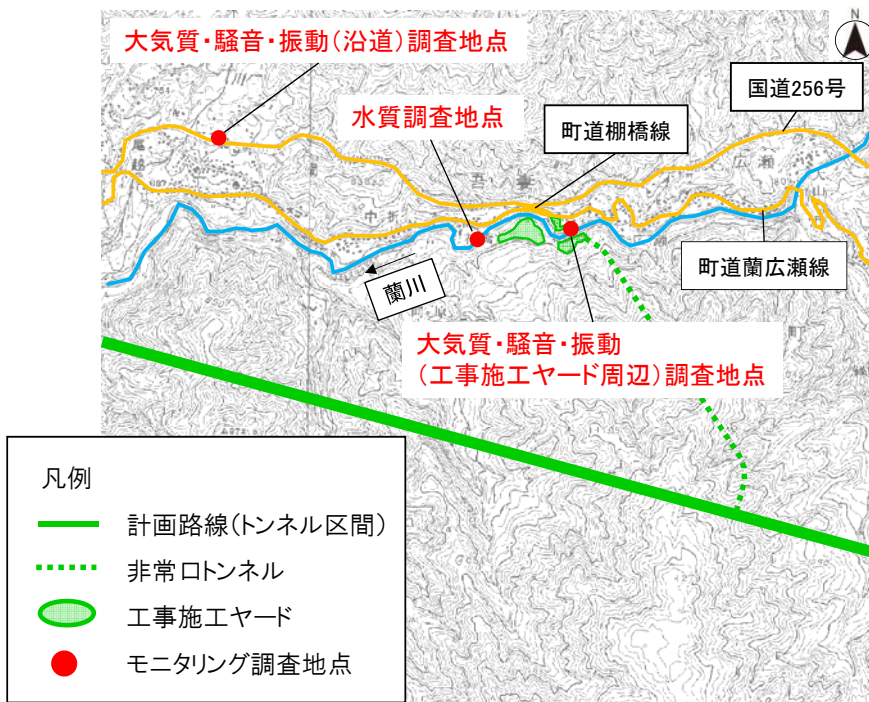
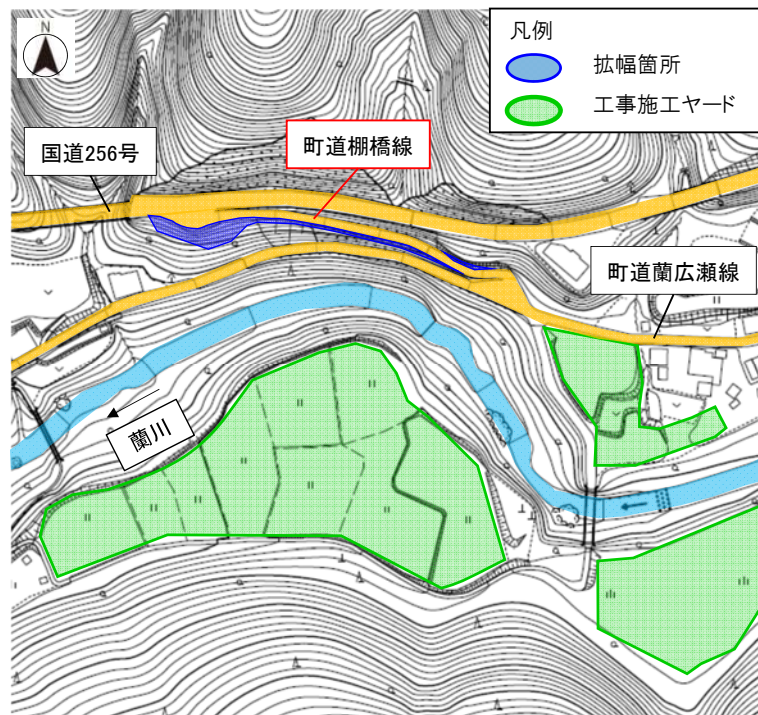


図4-1 モニタリング調査地点

## 参考 道路改良計画ほか

## <既設道路(町道棚橋線)の改良計画>



道路改良計画箇所において動植物の重要な種の生息・生育が確認されていないこと、及び改変の規模が小さいこと等から、環境への影響は小さいものとする。

配布資料:

南木曾町内における中央新幹線建設工事に伴う  
工事用車両の通行等に関する確認書

### 工事用車両の通行等に関する確認書の取交しスケジュール

	ステップ1 (今回)	ステップ2	ステップ3	ステップ4
時期	R2. 8	R2 冬頃	未定	未定
広瀬工区	・道路改良工事 ・準備工 (ヤード整備)	—	・発生土置き場 ・トンネル工事	—
尾越工区	—	・道路改良工事 ・準備工 (ヤード整備)	—	・発生土置き場 ・トンネル工事

・発生土置き場に係る工事用車両の通行等については、発生土置き場の位置が決まり、通行ルートが確定した後に確認書を取り交わす。



## 位置図



## 現地状況



当該箇所は、採草地等として利用されていたところであり、緩やかな平場です。



### 施工管理

- ・ 関係法令等を遵守して設計・施工します。
- ・ 表層の切株、雑草、腐植土等は施工前に除去します。
- ・ 重機を使用して、概ね盛土高30cmごとに転圧します。
- ・ 排水設備(排水側溝、調整池等)を設置し、適切に水の処理を行います。

### 維持管理方法

- ・ 詳細な管理方法・期間等については、地権者・関係者と協議します。
- ・ 長者畑については、当社で恒久的に維持管理する方針で協議します。

### 今後の進め方

- ・今後、発生土置き場として地権者・関係機関等と協議・検討を進めたい。
- ・まずは、現地測量、地質調査及び環境調査の実施を考えています。
- ・調査等の結果を踏まえて詳細な検討を進め、改めてご説明いたします。